



## 2. 2020年度の事業の概況

2020年度の事業の概況 .....	18
トピックス .....	21



# 2020年度の事業の概況

## 金融経済環境

2020年度の日本を含む世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が継続しましたが、世界的な財政支援策・金融緩和が下支えし、持ち直しの動きがみられました。

日本経済は、4-6月期実質GDPは新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急事態宣言発令等による経済活動の停滞から前期比年率△28.6%と戦後最大の落ち込みとなりましたが、政府による大規模な緊急経済対策や日本銀行の金融緩和の継続が下支えとなり、7-9月期は同+22.9%と大幅に持ち直し4四半期ぶりプラス成長となりました。10-12月期についても同+11.7%と2四半期連続でプラス成長となりましたが、2021年1-3月期は、政府が2度目の緊急事態宣言を発令するなど、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等から同△3.9%と再びマイナス成長となり、経済の先行き不透明感の強い状況が続きました。

この間、米国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により4-6月期実質成長率は大きく落ち込みましたが、FRBによる企業の資金繰り支援等の金融緩和策や積極的な財政支援策等により着実に持ち直しました。欧州経済は、度重なるロックダウン(都市封鎖)を行ったことにより、個人消費や生産が落ち込み、弱い動きが続きました。また、中国経済は、新型コロナウイルス感染症の早期抑え込みを図ったことで、投資など企業部門がけん引し、緩

やかな回復となりました。

## 2020年度の決算の概況

### 資金調達の状況

2020年度末の資金調達額は10兆3,201億円、前期末比1,922億円の増加となりました。

預金(譲渡性預金を含む)は、期末残高7兆4,198億円、前期末比770億円の減少となりました。また、期中平均残高は7兆7,830億円で、前期比450億円の減少となりました。

〈ろうきん〉からの定期預金は期末残高5兆6,505億円、前期末比1,598億円の減少となりました。

〈ろうきん〉以外のお客さまからお預かりする確定拠出年金定期預金は、期末残高9,226億円、前期末比655億円の増加となり、譲渡性預金は、期末残高2,117億円、前期末比99億円の増加となりました。

要求払預金は、期末残高5,921億円、前期末比120億円の増加となりました。

短期金融市場からの調達は、資金繰りや効率運用を目的に取り組みました。借入金は、共通担保資金供給オペに加え、被災地金融機関支援オペ、貸出増加支援オペ、新型コロナウイルス対応特別オペに取り組み、期末残高は1兆4,174億円、前期末比1,266億円の減少となりま

した。また、期中平均残高は1兆5,877億円、前期比396億円の減少となりました。

現金担保付債券貸借取引は、裁定取引の一手段として行い、期末残高は1兆629億円、前期末比241億円の減少となりました。また、期中平均残高は1兆690億円、前期比316億円の増加となりました。

コールマネーは、裁定取引の一手段として行い、期中平均残高は1,866億円、前期比334億円の増加となりました。

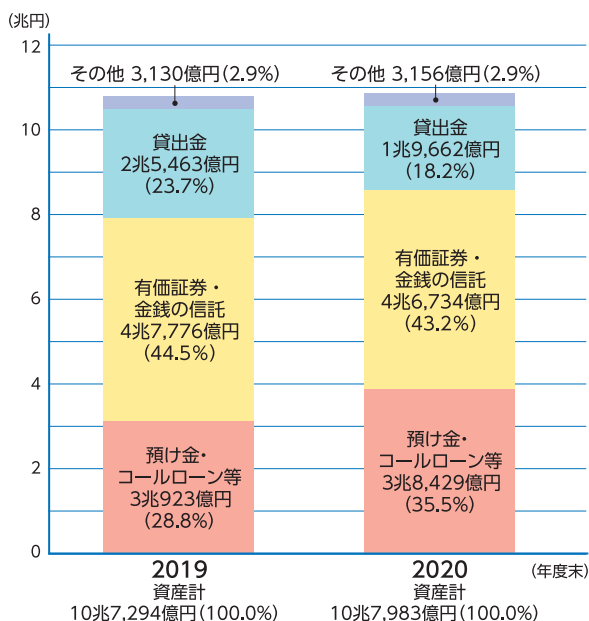
### 資金運用の状況

2020年度末の貸出金残高は1兆9,662億円、前期末比5,800億円の減少となりました。会員貸付は、平成28年熊本地震による特別貸付・日銀資金供給見合い貸付に加え、労働金庫事業性資金融資サポート貸付により、残高は1兆549億円、前期末比5,376億円の減少となりました。会員外貸付の残高は9,113億円、前期末比424億円の減少となりました。内訳は、国に8,859億円、独立行政法人に232億円、その他21億円でした。

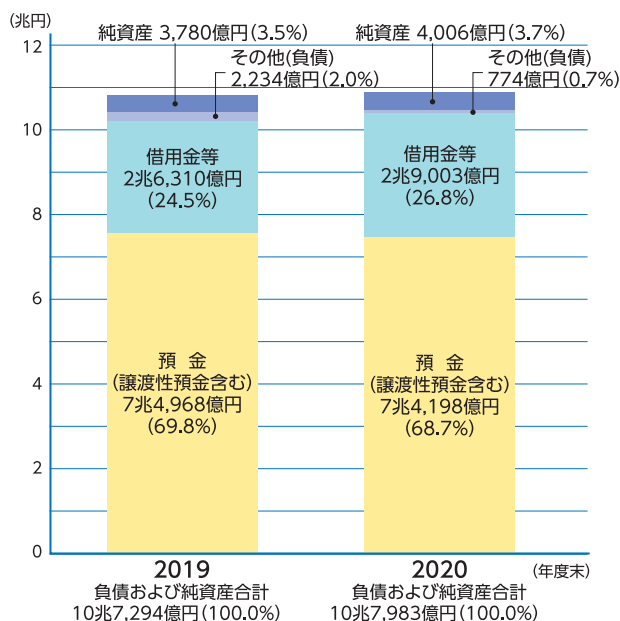
短期運用資産(国等への貸付を含む)は、日銀による強力な金融緩和により、タム物を含めた金利の低位安定が続くなか、国内金融機関とのコールローン取引に加え、国への入札貸付を中心に運用し、期末残高は4兆8,595億円、前期末比3,359億円の増加となりました。

短期運用資産のうち、短期社債につい

## 資産の構成



## 負債および純資産の構成



ては、相場動向や金利水準を見極めながら、信用リスクに留意しつつ運用し、期末残高は1,299億円、前期末比3,759億円の減少となりました。また、期中平均残高は2,757億円、前期比925億円の増加となりました。

短期社債を除く有価証券(金銭の信託含む)は、期末残高4兆5,434億円、前期末比2,717億円の増加となりました。

購入については、それぞれのリスクに留意しつつ、国債・地方債をはじめとする公共債のほか、生損保・銀行・事業会社の劣後債、サムライ債、仕組債、資本性証券等を購入しました。

一方、非円金利資産への分散投資を段階的に進める観点から、外貨建債や株式・投資信託、オルタナティブファンド等を購入し、ポートフォリオの充実・強化に努めました。

### 損益・利回りの状況

経常収益は、前期比23億円減少し620億円となりました。

主な要因は、有価証券利息配当金の減少により資金運用収益が前期比17億円減少し383億円となったこと、総合事務センターの消費税の減少に伴う事務処理受託手数料の減少により役務取引等収益が前期比3億円減少し225億円となったこと、国債等債券売却益が前期比10億円減少し1億円となったこと、株式等売却益が前期比8億円増加し9億円となったことです。

経常費用は、前期比6億円減少し492億円となりました。

主な要因は、預金利息の減少により資金調達費用が前期比13億円減少し172億円となったこと、物件費の増加等により経費が前期比2億円増加し283億円となったこと、国債等債券売却損が前期比6億円減少し8億円となったこと、前期は計上できなかった国債等債券償却が10億円となったことです。

この結果、経常利益は127億円(前期比17億円減少)、税引前当期純利益は127億円(前期比17億円減少)、当期純利益は104億円(前期比16億円減少)と

なりました。

資金運用利回りが前期比0.02ポイント低下の0.35%となり、資金調達原価率は前期比0.01ポイント低下の0.42%となりました。この結果、総資金利ざやは前期比0.01ポイント低下し△0.07%となりました。

なお、受託手数料として回収した総合事務センター経費等を控除した実質ベースの資金調達原価率は0.22%、総資金利ざやは0.13%となりました。

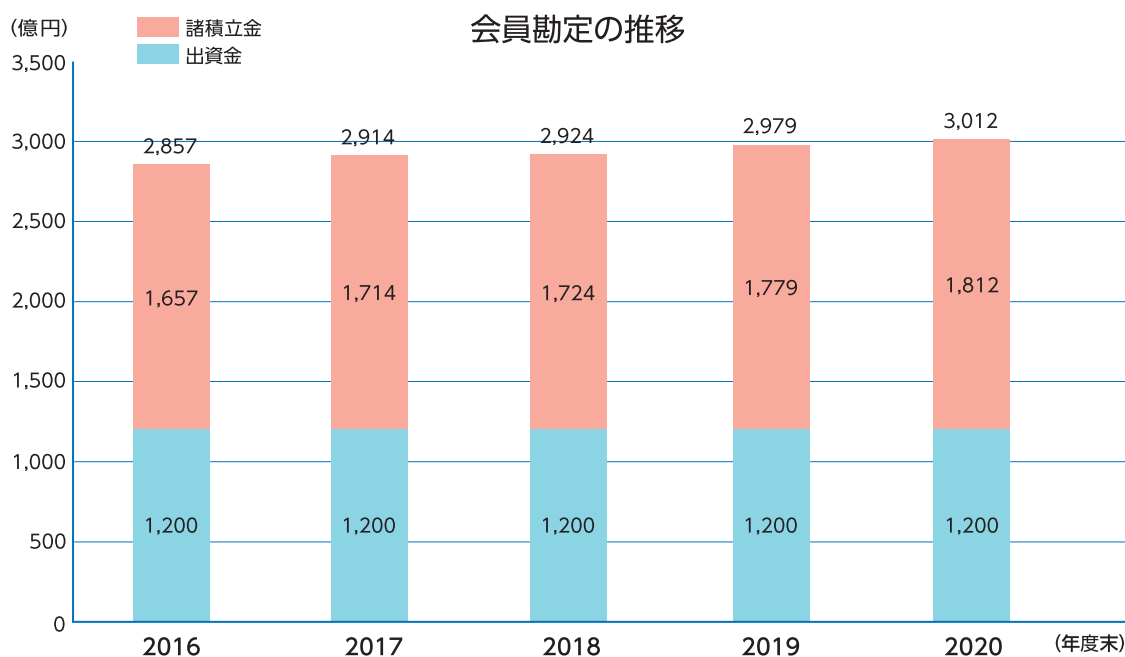
### 格付けの状況

労金連は、「株式会社格付投資情報センター (R&I)」の発行体格付け「AA-」を取得しています。  
(2021年6月30日現在)

### 純資産額の推移

(単位:億円)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
出資金	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
諸積立金	1,657	1,714	1,724	1,779	1,812
会員勘定合計	2,857	2,914	2,924	2,979	3,012
その他有価証券評価差額金等	1,266	1,145	1,133	800	994
純資産額	4,124	4,060	4,057	3,780	4,006



## 主要な事業の状況を示す指標

(単位:百万円)

項 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経常収益	77,571	78,572	70,791	64,389	62,002
経常費用	57,300	60,584	57,316	49,964	49,282
経常利益	20,271	17,987	13,474	14,425	12,719
当期純利益	16,721	15,055	10,968	12,110	10,467
純資産額	412,429	406,015	405,761	378,037	400,694
総資産額	8,621,538	9,984,093	10,802,430	10,729,415	10,798,325
預金残高(譲渡性預金含む)	6,754,399	7,366,065	7,574,710	7,496,861	7,419,804
貸出金残高	894,430	1,789,766	2,612,475	2,546,338	1,966,247
有価証券残高	4,479,647	4,249,980	4,254,112	4,772,696	4,668,421
出資総額	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
出資総口数(口)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
出資に対する配当金	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
職員数(人)	412	413	414	424	431
単体自己資本比率(%)	27.77	25.77	25.77	21.83	21.71

(注) 1. 貸借対照表関係の項目については、各年度の期末残高を記載しています。

2. 単体自己資本比率について、「労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、労働金庫及び労働金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号)」に基づき算定しています。

なお、労金連は国内基準を採用しています。

# トピックス

## ●「ろうきんアプリ」で残高や入出金を“いつでも・どこでも”スマホでチェック！

「ろうきんアプリ」はスマートフォンで“いつでも・どこでも”、かんたんに残高や入出金を確認できる便利なアプリです。

他にも、入出金明細に使用用途などをメモできる機能や、スマートフォンのカメラ機能で税金などのお支払い、〈ろうきん〉からのおトクな情報のお届けなど、便利な機能が充実しています。

さらに、2021年3月にはリニューアルして、郵送でお届けしていた各種ご案内(帳票)の内容をアプリで確認できる機能、住所変更機能、お近くのろうきんの店舗でのご相談を予約できる機能が追加され、「ろうきんアプリ」の口座登録者数は58万件を超えました(2021年3月末)。

今後も、〈ろうきん〉はお客様のニーズに合わせて「ろうきんアプリ」から各種サービスを提供してまいります。

※Appleのロゴは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

※App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.のサービスマークです。

※Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

## ●「ろうきんiDeCo」が21万件突破！！

iDeCo（個人型確定拠出年金）は、2017年1月の法改正で制度利用対象者の範囲が大幅に拡大された私的年金制度です。全国の〈ろうきん〉の「ろうきんiDeCo（個人型年金プラン）」加入者数は、2017年1月から取扱い開始以降、21万件を超えました（2021年5月末）。労金連では、特設Webサイト「ろうきんのiDeCoスペシャルサイト」や専用コールセンターの運営などを通じて、お客さまに対する丁寧な対応と、わかりやすい制度紹介に努めており、〈ろうきん〉の推進活動・事務を支援しています。

「ろうきんiDeCo」はシンプルでわかりやすい商品ラインアップとし、お客さまとの丁寧な対応を心がけた結果、数ある金融機関のなかでもトップクラスの加入者数となっています。2021年4月には、新たに6商品をラインアップに加え、より資産形成を行いやすいプランとなっています。

また、〈ろうきん〉を代表して確定拠出年金普及・推進協議会に参加し、iDeCoの制度普及に取り組んでいます。

〈ろうきん〉は、「ろうきんiDeCo」を活用した年金資産の形成をお客さまにご提案してまいります。



<https://rokin-ideco.com/>



## ●勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言の取組み

〈ろうきん〉は、勤労者の資産形成について、長きにわたり会員との協働により財形貯蓄やエース預金の推進を基盤として運動を展開し、2000年代以降は、退職金・企業年金制度を取り巻く環境の変化に対応するべく、「企業年金に係る役割発揮宣言」を掲げ取り組んでまいりました。

〈ろうきん〉は、人生100年時代の到来や、昨今の政府の政策面からの急速な投資環境整備などを受け、勤労者に対してよりふさわしい資産形成の取組内容を発信する必要があることから、これまでの取組みを発展させた「〈ろうきん〉の勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言」を掲げ取り組んでいます。

ろうきんDC定期預金は、競争力のある金利・高い信用力によって、多くの企業（2021年3月末現在：1,111規約・11,700社）から選定を受けており、DC制度加入者（組合員）を資産形成の面からもサポートしています。ろうきんDC定期預金残高は、2021年3月末現在9,226億円（期間5年：9,196億円/期間1年：30億円）となり、1兆円も視野に入る規模に拡大しています。なお、期間5年定期預金はDC運用の単一商品では残高No.1です。

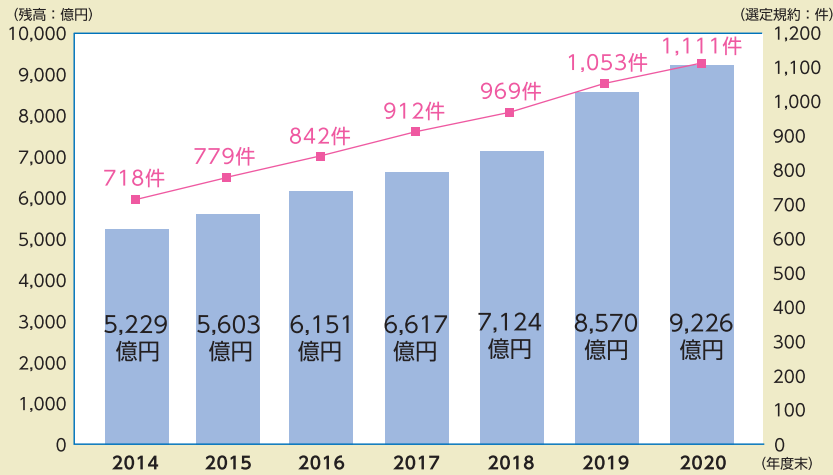
労金連Webサイトの「ろうきんの勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言～企業年金に係る取り組み～」では、企業年金の概要や資産運用の考え方、企業型DCの選択制DCやマッチング拠出のシミュレーションなど勤労者に役立つ情報を提供しています。



<https://www.rokinren.com/kigyonenkin-support/>



## ろうきんDC定期預金残高の推移



**ろうきんDC定期預金**  
第1位

5つの特徴

- 魅力ある金利設定  
年利 **0.100%**
- 多くの商品間で、利用可能  
残高 **9,226** 億円
- 高い信用力  
格付 **AA-** (R&I)
- 新設なし  
全てのRKで利用可能
- 万が一の備えも安心  
ペイオフ制度

## ●ろうきん財形は選ばれてNo.1

（ろうきん）は、計画的な資産形成や多重債務対策などの「生活応援運動」を全国的に展開しており、多くの勤労者の皆さまにその中核的な商品である「ろうきん財形」をご活用いただいています。

2021年3月末現在で契約件数は2,583,502件・貯蓄残高は3兆8,302億円を超え、件数・残高ともに業態別第1位となっています。

### ろうきん財形契約件数・貯蓄残高 (2021年3月末)

(単位:件、百万円)

	財形貯蓄 (一般)	財形年金貯蓄	財形住宅貯蓄	合計
契約件数	1,738,929	642,108	202,465	2,583,502
貯蓄残高	2,687,134	855,049	288,023	3,830,207

あなたと財形貯蓄のかけ橋  
**BRIDGE**  
Vol. 52  
今から始める 未来の自分づくり!!  
ろうきん財形で貯蓄習慣を身につけよう!

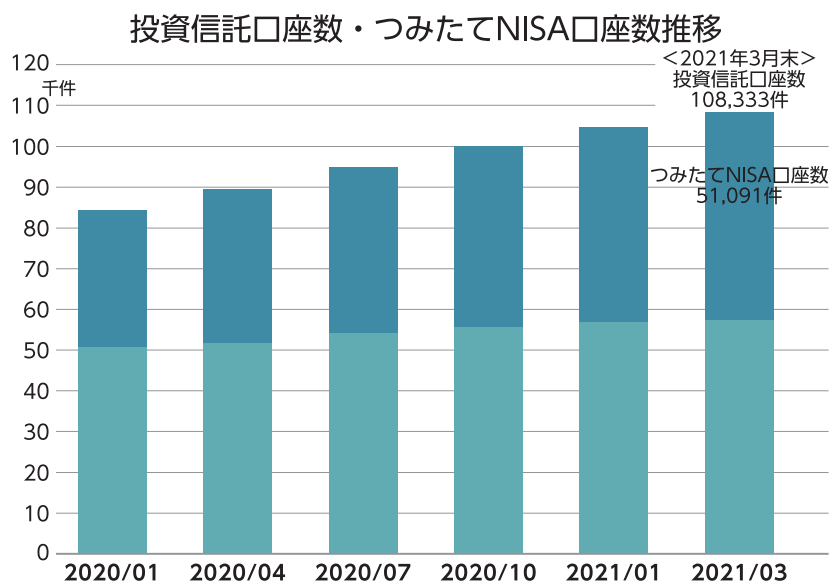
全財形がよいの? 1本でOK!!  
給料や一時金から天引されるので、自分でやりくりする手間もなく確実に貯まります。お申込みは簡単で手数料がゼロのため、金融機関まで足を運ぶ必要がありません。「財形」でコジコジと資産形成して、理想的なライフイベントを実現しましょう。

ライフイベントによって必要になるお金でたくさんあるんです!

- 一般財形: 銀行資金 ¥23万円
- マイカー: 購入資金 ¥260万円
- 住宅: 住宅資金 ¥3,500万円
- セカンド: セカンドライフ資金 ¥1,600万円

## ●ろうきんのつみたてNISAで資産形成！！

〈ろうきん〉では、お客さまが将来に向けて安定的な資産形成を進めていくために、お客さまの様々なライフプランに応じた「つみたてNISA」の活用をご提案しています。これから投資を始めるお客さまや、資産を形成していくお客さまのニーズにお応えする中で、投資信託口座数108,333件のうち、つみたてNISAの口座数は51,091件となっています(2021年3月末)。



## ●「ろうきんのある生活」を公開しました！！

お客さまの生活の中でご活用いただける〈ろうきん〉のサービスを紹介する特設ページ「ろうきんのある生活」を公開しました。資産形成に役立つコラムを掲載しているWebコンテンツ「ろうきんとつくる あなたのLife Plan」と併せて、今後もお客さまにお役立ていただけるよう、内容を充実させてまいります。

積立を検討されている方

ゴールを決めて積立てる

積立をしたその先をイメージできていますか？  
まずは将来の夢や希望をイメージしてみましょう。積立はあなたの夢を叶える第1歩です。

あなたの夢はなんですか？

自動車購入、マイホーム、教育費、老後資金など、「なんのために(目的)」「いつまでに(期間)」「いくら必要なのか(ゴール)」をあらかじめ決めておくことが大切です。また、運用開始後は、定期的に状況を確認することが重要です。

ろうきんで快適なマネーライフ  
～もういちいちお出しでお金に悩まなくて～

お金の管理をスマートに  
商品・用途をいつでも、どこでも確認できる！  
税金などの必要な手続きも簡単！

QRコード

<https://www.rokinren.com/uno/lp>